

心のノート

No.9 2021年(令和3年)10月21日(木)



10月13日(水)の道徳は、『ゴミ箱をもっと増やして』という教材から考えました。とある新聞への投稿と、それに対する3つの意見で構成されていました。投稿者が短期留学で行った米国にはゴミ箱が多かったが、日本には少なく不便に感じていました。ゴミを持ち帰る啓発ポスターも目にするものの、草むらなど人目につかない所には、ゴミがポイ捨てされています。このことから、町にゴミ箱をもっと増やしたほうが良いのではないかと投稿者は思っています。この投書に対して、観光名所や公園には設置してほしい、ゴミの完全撤去を望む、環境を守るためにゴミは持ち帰ろう、という意見が寄せられました。

【生徒の学んだこと、印象に残ったこと、考えたこと、感想より】

*ゴミ箱を増やすべきかどうかについて考えました。町にゴミ箱を増やすのはポイ捨てが減るというメリットがあるけど町の外観が崩れたり、税金がかかるというデメリットもありました。私はその中間で人が多いところにだけ増やすを考えました。工夫をすればデメリットもメリットになると思うので自分の意見と相手の意見を混ぜるのも大切だと思いました。

*ゴミ箱は増やすべきだと思いました。理由は量が少ないとポイ捨ての量が増えてしまうからです。他には観光に来た海外の人達に嫌な思いをさせたくないからです。またゴミ箱がパンパンになって嫌な思いをする人がいたりカラスなどがつついて不衛生になるのも良くないと思います。

*ルールやきまりは昔からあったものを続けるのもいいことだけど時代に合ったルールやきまりへ進化していくことで誰もが住みよい街になってくると思う。特定の人達だけで、ルールやきまりを決めるのではなく、少しでも多くの人の意見を聞いて反映していくことで、だれもが住みよい街になっていくと思う。